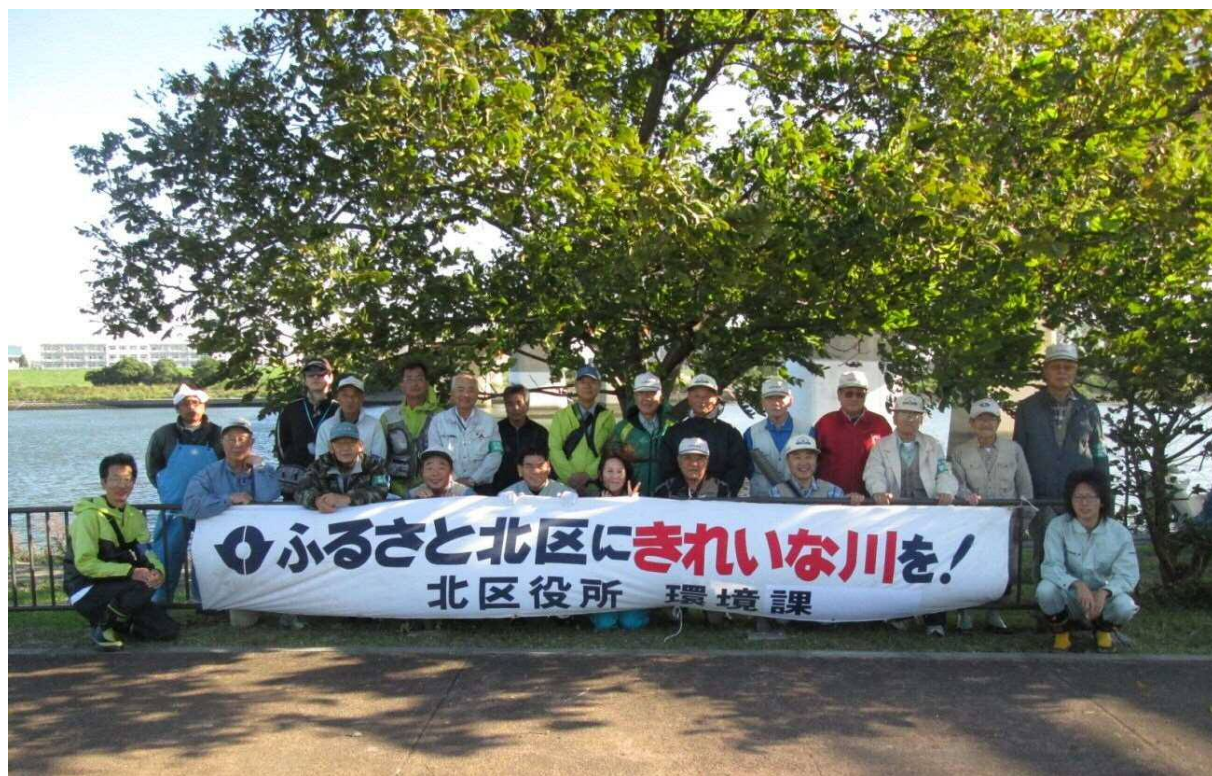


第32回
北区河川生物生息調査
報告書
平成27年度



平成28年3月
北 区

北区河川生物生息調査地点図（平成27年度）

釣り調査地点 A~J
 投網調査地点 ①~⑬



- 投網調査地点**
 (◎平成27年9月15日 ☆9月29日 ★10月7日)
 [荒川]
 ★-①戸田橋下流
 ★☆-②菖蒲川荒川合流点付近
 ★☆-③JR荒川鉄橋上流200-400m付近
 ★☆-④新荒川大橋下
 ★☆-⑤新荒川大橋下流600-800m付近
 ★☆-⑥旧芝川荒川合流点
 ◎-⑦荒川子どもの水辺ワンド
 [隅田川]
 ★☆-⑧新岩淵水門下流
 ☆-⑨新神谷橋付近
 ☆-⑩みやぎ水再生センター排水口付近
 [石神井川]
 ☆-⑪石神井川王子駅下トンネル内
 ◎-⑫もみじ緑地ワンド横本流
 ◎-⑬もみじ緑地ワンド

- 釣り調査地点(平成27年10月7日)**
 [荒川]
 A 菖蒲川荒川合流点右岸
 B JR荒川鉄橋上流200m付近右岸
 C JR荒川鉄橋上流150m付近右岸
 D JR荒川鉄橋上流20m付近右岸
 E 荒川子どもの水辺ワンド
 F 新荒川大橋下流150m付近右岸
 G 新荒川大橋下流500m付近右岸
 H 新岩淵水門100m付近荒川右岸
 I 旧芝川荒川合流点
 [新河岸川]
 J 新志茂橋付近左岸

はじめに

私たちの住む北区には、荒川をはじめ隅田川・新河岸川・石神井川の4河川が流れています。川は、昔から人々と深いかかわりを持ち、まちの産業・文化の発展に大きな役割をはたしてきました。また、豊かな流れと美しい自然の景観も多くの恵みをもたらしてくれました。

しかし、戦後の産業経済の発展と急速な都市化の進行にともない、川は、工場排水や生活排水により著しく汚れてしまいました。なかには、一時期、悪臭がして魚も棲めないため、「死の川」と呼ばれた川もあったほどです。さらに、治水対策として垂直のコンクリート護岸がつくられ、人々をますます水辺から遠ざけてしまいました。

このように川が下水に近くなった時代から、近年は汚濁発生源に対する規制の強化と下水道整備等により、水質は良くなってきました。また、河川環境の整備も進み、各種の魚も見られるようになって、川は再び憩いの水辺として甦りつつあります。

しかし、魚などの水生生物が安定して棲め、誰もがやすらぎやうるおいを得られる川としては、河川の構造改善、水質・流量の安定など、まだまだ多くの課題があります。さらなる水質改善や水辺環境の向上を図るには、区が各種の施策を積極的に推進することはいうまでもありませんが、区民の方々にも河川に対する強い関心を持っていただき、多方面からの対策を展開することが必要です。

区では、化学分析による水質調査だけではなく、河川の魚類生息状況を調査し、推移をみることにより河川環境を判断することを目的として、昭和59年度から「河川生物生息調査」を継続実施しています。この報告書は、平成27年度に実施した第32回調査の結果をまとめたものです。誰にでも親しめる水辺環境の実現に向けて、区民の方々に河川の水質や環境に対する理解を深めていただくための参考となれば幸いです。

なお、当調査にご協力いただいた北区釣魚連合会、淡水魚類研究者の君塚芳輝氏、飯島香織氏、並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

【調査概要】

北区内の河川に生息している魚類を把握するために3回に分けて魚類調査を行いました。採集した魚は、種の同定、個体数の調査、全長・体長測定を行いました。

また、一部の魚については魚肉分析（可食部の総水銀・PCB・ヨウ素 131・セシウム 134・セシウム 137の含有量測定）をしました。

| | 調査日 | 調査項目 | 調査方法 | 調査場所 |
|-----|-------|----------------|--------------|-------------------------------|
| 第1回 | 9月15日 | 魚類生息状況 | 歩いての投網・手網 | 石神井川・石神井川もみじ緑地ワンド・荒川子どもの水辺ワンド |
| 第2回 | 9月29日 | 魚類生息状況 | 船からの投網 | 荒川・隅田川・石神井川 |
| 第3回 | 10月7日 | 魚類生息状況 魚肉分析 | 釣り 船からの投網 | 荒川・荒川子どもの水辺ワンド・新河岸川・隅田川 |



船上から投網を打って魚を採集



船上から手網で魚を採集



釣りにより魚を採集
(協力：北区釣魚連合会)



採集した魚は魚種・全長などを調べてから川に放すが、特定外来生物はその場で処分

【調査結果】

31 種及び亜種（以下 種類とする）836 尾の魚類が確認されました。

東京都レッドデータリスト記載種は 9 種類、環境省レッドリスト記載種は 3 種類、外来種は 5 種類確認されました。魚種の内訳は、淡水魚種と海水・汽水性魚種であり、広い範囲が汽水域や感潮域である北区内河川の特徴を表しています。

第 1 回調査の前週、平成 27 年 9 月 7 日に発生した台風第 18 号や前線の影響で広い範囲で大雨となり、関東地方と東北地方では記録的な大雨となりました。この影響のためか、荒川では全体に小型の魚の数が少ない結果となりました。

石神井川もみじ緑地ワンドで確認されたアブラハヤ・シマドジョウ・ギバチの 3 種類はもともとこの川に生息しないため、人為的放流によるものと考えられました。人為的放流は地域に形成された生物相や生態系に様々な影響を及ぼす可能性があります。



石神井川脇のもみじ緑地ワンド内の水を本流に排水すると魚の採集がしやすくなります。ワンドは本流の流水環境に静水・止水環境を付加することで、河川の構造的環境の多様性を高めています。



石神井川の王子駅下はトンネルになっています。トンネル上流端の勾配が急峻で、内部では大量の魚類が溯上できずに集まっている様子が毎年確認されています。



荒川子ども水辺ワンドは JR 東北線鉄橋と新荒川大橋に挟まれた高水敷にあります。



荒川子ども水辺ワンドの維持管理や調査活動は、地域のボランティアの方々の熱心な活動に支えられています。

【河川別個体数】

各河川において確認された種類と個体数は以下のとおりです。

| 番号 | 目名 | 科名 | 標準和名 | 荒川 | | 隅田川 | 新河岸川 | 石神井川 | | 合計 | 備考 |
|-----------|--------|---------|-----------|------|-----------|-----|------|------|----------|--------|--------|
| | | | | 荒川 | 子どもの水辺ワンド | | | 石神井川 | もみじ緑地ワンド | | |
| 1 | ウナギ | ウナギ | ウナギ | 3 | | | | | | 3 | 絶滅危惧種 |
| 2 | サケ | キュウリウオ | ワカサギ | | 6 | | | | | 6 | 国内移殖種 |
| 3 | コイ | コイ | タモロコ | | | | | 5 | | 5 | 国内移殖種 |
| 4 | | | スゴモロコ | | 14 | | | | | 14 | 国内移殖種 |
| 5 | | | モツゴ | | 34 | | | | 16 | 50 | |
| 6 | | | ニゴイ | 2 | | 1 | | 2 | | 5 | |
| 7 | | | ツチフキ | | 2 | | | | | 2 | 国内移殖種 |
| 8 | | | アブラハヤ | | | | | | 298 | 298 | 国内移殖種* |
| 9 | | | ウグイ | | | | | | 1 | 1 | |
| 10 | | | マルタ | 4 | 10 | | | | | 14 | |
| 11 | | | オイカワ | | 8 | | | | 105 | 113 | |
| 12 | | | ハス | 1 | | | | | | 1 | 国内移殖種 |
| 13 | | | ハクレン | 2 | | | | | | 2 | 外来種 |
| 14 | | | ギンブナ | 2 | 15 | | | | 1 | 18 | |
| 15 | | | ゲンゴロウブナ | 2 | 1 | 1 | | | | 4 | 国内移殖種 |
| 16 | | | コイ | | 11 | | | | | 11 | |
| 17 | | | タイリクバラタナゴ | | 8 | | | | | 8 | 外来種 |
| — | | | コイとフナの雑種 | | 1 | | | | | 1 | |
| 18 | | | ドジョウ | ドジョウ | | | | | 1 | 39 | 40 |
| 19 | シマドジョウ | | | | | | | 8 | 8 | 国内移殖種* | |
| 20 | ナマス | ギギ | ギバチ | | | | | 4 | 4 | 国内移殖種* | |
| 21 | ダツ | メダカ | メダカ* | | | | | 41 | 41 | 国内移殖種* | |
| 22 | カダヤシ | カダヤシ | カダヤシ | | 4 | | | | 4 | 特定外来種 | |
| 23 | ボラ | ボラ | ボラ | 13 | 35 | | 1 | 1 | 50 | | |
| 24 | スズキ | スズキ | スズキ | 13 | | 1 | | | 14 | | |
| 25 | | サンフィッシュ | ブルーギル | | 6 | | | | 6 | 特定外来種 | |
| 26 | | | コクチバス | | 1 | | | | 1 | 特定外来種 | |
| 27 | | ハゼ | クロダハゼ | | | | | 2 | 2 | | |
| — | | | ヨシノボリ類 | | 2 | | | | 2 | | |
| 28 | | | ヌマチチブ | 24 | 5 | | 51 | | | 80 | |
| 29 | | | シモフリシマハゼ | | 1 | | | | | 1 | |
| 30 | | | マハゼ | 21 | 1 | 2 | 1 | | | 25 | |
| 31 | | アジシロハゼ | 1 | 1 | | | | | 2 | | |
| 8目11科31種類 | | | 種類数 | 12 | 19 | 4 | 3 | 3 | 11 | 31 | |
| | | | 個体数合計 | 88 | 166 | 5 | 53 | 4 | 520 | 836 | |

※国内他水域からの人為的放流の可能性が高い

*東京都では野生個体群が絶滅状態なので、人為的な放流と思われる

【外来種の確認状況】

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で特定外来生物と指定された種及び「生態系被害防止外来種リスト」に記載された国外由来の外来種を「外来種」としました。

| 目名 | 科名 | 標準和名 | 荒川 | 隅田川 | 新河岸川 | 石神井川 | 特定外来生物 | 生態系被害防止外来種リスト |
|------|---------|-----------|----|-----|------|------|--------|---------------|
| コイ | コイ | ハクレン | ○ | | | | | ● |
| | | タイリクバラタナゴ | ○ | | | | | ● |
| カダヤシ | カダヤシ | カダヤシ | ○ | | | | ● | ● |
| スズキ | サンフィッシュ | ブルーギル | ○ | | | | ● | ● |
| | | コクチバス | ○ | | | | ● | ● |

※「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成 27 年 3 月）

【絶滅危惧種等の確認状況】

環境省レッドリスト 2015 及び東京都レッドデータリスト（2010）の選定基準で指定されている種。東京都レッドデータリストは区部の評価を基準としました。

| 目名 | 科名 | 種名 | 荒川 | 隅田川 | 新河岸川 | 石神井川 | 東京都 レッドデータリスト | 環境省 レッドリスト | |
|-----|------|---------|----|-----|------|------|------------------|---------------|--|
| ウナギ | ウナギ | ウナギ | ○ | | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| コイ | コイ | ニゴイ | ○ | ○ | | ○ | 準絶滅危惧 | | |
| | | アブラハヤ* | | | | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | | |
| | | マルタ | ○ | | | | 留意種 | | |
| | ドジョウ | シマドジョウ* | | | | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | | |
| ナマス | ギギ | ギバチ* | | | | ○ | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| ダツ | メダカ | メダカ* | | | | ○ | 絶滅危惧Ⅰ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| スズキ | ハゼ | ヌマチチブ | ○ | | ○ | | | 留意種 | |
| | | アシシロハゼ | ○ | | | | | 留意種 | |

※国内他水域からの人為的放流の可能性が高い

*東京都では野生個体群が絶滅状態なので、人為的な放流と思われる

～東京都レッドデータリスト 2010 年版～（東京都環境局（平成 22 年 3 月））

東京都における保護上重要な野生生物種を次のカテゴリーに区分し、淡水魚類は 38 種類が選定されています。

【絶滅危惧Ⅰ類】 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの

【絶滅危惧ⅠA類】 ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

【絶滅危惧ⅠB類】 ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

【絶滅危惧Ⅱ類】 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

【準絶滅危惧】 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

【情報不足】 環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの

【留意種】 現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため上記カテゴリーには該当しないが、留意が必要と考えられるもの

～環境省レッドリスト 2015【汽水・淡水魚類】～

【絶滅危惧ⅠB類】 ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

【絶滅危惧Ⅱ類】 絶滅の危険が増大している種

【魚肉分析結果】

＜総水銀及びPCB＞

6種類6検体を選出し、可食部に含まれている総水銀とPCBの量を測定分析しました。すべての検体から総水銀とPCBが検出されましたが、暫定的規制値以下でした。

| | 魚類名 | 捕獲河川名 | 場所 | 総水銀 | PCB |
|---|-------|-------|------------------|-------|-------|
| | | | | mg/kg | mg/kg |
| 1 | ニゴイ | 隅田川 | 新岩淵水門下流 | 0.17 | 1.4 |
| 2 | ギンプナ | 荒川 | 菖蒲川荒川合流点 | 0.13 | 1.2 |
| 3 | マハゼ | 荒川 | JR荒川鉄橋上流200m付近右岸 | 0.06 | 0.17 |
| 4 | スズキ | 荒川 | JR荒川鉄橋上流150m付近右岸 | 0.13 | 0.33 |
| 5 | ボラ | 荒川 | 新荒川大橋下流500m付近右岸 | 0.02 | 0.56 |
| 6 | ヌマチチブ | 新河岸川 | 新志茂橋付近左岸 | 0.11 | 0.94 |

暫定的規制値：総水銀…0.4mg/kg PCB（可食部のみ）内海魚…3.0mg/kg

分析方法：衛生試験方法 2.4 食品汚染物試験法準拠

備考：総水銀とは水銀及びその化合物をいう。

分析値は全て乾燥試料あたりに換算してある。

分析部位の可食部については、それぞれ数尾の可食部を混合したものである。

＜ヨウ素 131、セシウム 134 及びセシウム 137＞

6種類6検体を選出し、可食部に含まれているヨウ素 131、セシウム 134 及びセシウム 137 の量を測定分析しました。すべての検体で不検出※でした。

| | 魚類名 | 捕獲河川名 | 場所 | ヨウ素131 | セシウム | | |
|---|-------|-------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | | | 134 | 137 | 合計 |
| | | | | | Bq/kg | | |
| 1 | ニゴイ | 隅田川 | 新岩淵水門下流 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |
| 2 | ギンプナ | 荒川 | 菖蒲川荒川合流点 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |
| 3 | マハゼ | 荒川 | JR荒川鉄橋上流200m付近右岸 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |
| 4 | スズキ | 荒川 | JR荒川鉄橋上流150m付近右岸 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |
| 5 | ボラ | 荒川 | 新荒川大橋下流500m付近右岸 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |
| 6 | ヌマチチブ | 新河岸川 | 新志茂橋付近左岸 | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<10) | 不検出 (<20) |

※不検出とは、() 内に示された検出下限値を超えないことを示す。

基準値：放射性セシウム（一般食品）…100Bq/kg

分析方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法に準拠

備考：分析部位の可食部については、それぞれ数尾の可食部を混合したものである。

【資料】

第1回投網・手網調査の結果（平成27年9月15日）

(1)石神井川

もみじ緑地ワンド

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|----|--------|--------|----------|-----|
| 1 | タモロコ | 38~111 | 30~90 | 5 |
| 2 | モツゴ | 30~80 | 26~62 | 16 |
| 3 | アブラハヤ | 20~91 | 15~75 | 298 |
| 4 | ウグイ | 54 | 44 | 1 |
| 5 | オイカワ | 23~100 | 20~83 | 105 |
| 6 | ギンブナ | 66 | 50 | 1 |
| 7 | ドジョウ | 81~141 | 69~131 | 39 |
| 8 | シマドジョウ | 45~73 | 38~63 | 8 |
| 9 | ギバチ | 46~61 | 40~52 | 4 |
| 10 | メダカ | 17~36 | 14~29 | 41 |
| 11 | クロダハゼ | 50~52 | 43 | 2 |

もみじ緑地ワンド横本流

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|------|--------|----------|-----|
| 1 | ドジョウ | 22 | 19 | 1 |

(2)荒川

荒川子ども水辺ワンド

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|----|-----------|--------|----------|-----|
| 1 | ワカサギ | 50~68 | 41~57 | 6 |
| 2 | スゴモロコ | 28~53 | 25~43 | 14 |
| 3 | モツゴ | 15~85 | 13~70 | 33 |
| 4 | ツチフキ | 67~70 | 55~60 | 2 |
| 5 | マルタ | 20~80 | 18~66 | 10 |
| 6 | オイカワ | 13~36 | 12~30 | 8 |
| 7 | ギンブナ | 44~89 | 33~70 | 15 |
| 8 | コイ | 71~153 | 57~120 | 10 |
| 9 | タイリクバラタナゴ | 30~55 | 24~42 | 8 |
| 10 | カダヤシ | 20~32 | 17~25 | 4 |
| 11 | ボラ | 63~70 | 53~56 | 34 |
| 12 | ブルーギル | 28~32 | 22~25 | 5 |
| 13 | コクチバス | 161 | 132 | 1 |
| 14 | ヨシノボリ類 | 20~21 | 18 | 2 |
| 15 | ヌマチチブ | 20~55 | 17~43 | 3 |
| 16 | シモフリシマハゼ | 36 | 30 | 1 |
| 17 | マハゼ | 118 | 96 | 1 |
| 18 | アシシロハゼ | 40 | 33 | 1 |

第2回投網調査の結果（平成27年9月29日）

(1)荒川

菖蒲川荒川合流点付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 392~692 | 310~575 | 3 |

JR荒川鉄橋上流200m~400m付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|---------|---------|----------|-----|
| 1 | ゲンゴロウブナ | 108 | 81 | 1 |
| 2 | ボラ | 152 | 126 | 3 |
| 3 | スズキ | 168 | 133 | 1 |
| 4 | マハゼ | 103~115 | 81~91 | 4 |

新荒川大橋下（投網・手網）

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|--------|----------|-----|
| 1 | ウナギ | 172 | 165 | 1 |
| 2 | ヌマチチブ | 28~44 | 22~37 | 10 |

新荒川大橋下流600~800m付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | ウナギ | 283~325 | 271~312 | 2 |
| 2 | ニゴイ | 245~376 | 218~318 | 2 |
| 3 | スズキ | 534 | 437 | 1 |

※ウナギは仕掛けで採集

旧芝川荒川合流点

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | マルタ | 105~121 | 86~97 | 3 |
| 2 | ボラ | 102~152 | 81~123 | 8 |

(2)隅田川

新岩淵水門下流

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|---------|--------|----------|-----|
| 1 | ゲンゴロウブナ | 231 | 185 | 1 |

新神谷橋付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | マハゼ | 95~115 | 77~85 | 2 |

みやぎ水再生センター排水口付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 570 | 485 | 1 |

(3)石神井川

石神井川王子駅下トンネル内（投網・手網）

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | ニゴイ | 475~555 | 390~493 | 2 |
| 2 | ボラ | 435 | 345 | 1 |

第3回投網調査の結果（平成27年10月7日）

(1)荒川

菖蒲川荒川合流点付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|---------|---------|----------|-----|
| 1 | ギンブナ | 333~338 | 262~271 | 2 |
| 2 | ゲンゴロウブナ | 105 | 81 | 1 |

戸田橋下流

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|------|---------|----------|-----|
| 1 | ハクレン | 768~842 | 699~722 | 2 |

JR荒川鉄橋上流200m~400m付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | マハゼ | 115 | 92 | 1 |

旧芝川荒川合流点

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | マルタ | 135 | 110 | 1 |

新荒川大橋下流600~800m付近

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | ハス | 188 | 153 | 1 |
| 2 | スズキ | 165 | 132 | 1 |
| 3 | マハゼ | 105 | 85 | 1 |

新荒川大橋下（投網・手網）

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|--------|--------|----------|-----|
| 1 | 又マチチブ | 27~52 | 21~43 | 4 |
| 2 | アシシロハゼ | 28 | 23 | 1 |

(2)隅田川

新岩淵水門下流

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | ニゴイ | 379 | 319 | 1 |

第3回釣り調査の結果（平成27年10月7日）

(1)荒川

A. 菖蒲川荒川合流点右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|------|--------|----------|-----|
| - | 釣獲なし | | | |

B. JR荒川鉄橋上流200m付近右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|--------|----------|-----|
| 1 | 又マチチブ | 48~65 | 37~53 | 2 |
| 2 | マハゼ | 96~130 | 77~105 | 7 |

C. JR荒川鉄橋上流150m付近右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|---------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 190~233 | 171~190 | 2 |
| 2 | 又マチチブ | 60 | 43 | 1 |
| 3 | マハゼ | 129~138 | 104~111 | 3 |

D. JR荒川鉄橋上流20m付近右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|--------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 177 | 141 | 1 |
| 2 | 又マチチブ | 59~71 | 47~57 | 3 |
| 3 | マハゼ | 97 | 76 | 1 |

E. 荒川子どもの水辺ワンド

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|----------|--------|----------|-----|
| 1 | モツゴ | 79 | 64 | 1 |
| 2 | ゲンゴロウブナ | 93 | 71 | 1 |
| 3 | コイ | 90 | 68 | 1 |
| - | コイとフナの雑種 | 142 | 113 | 1 |
| 4 | ボラ | 75 | 61 | 1 |
| 5 | ブルーギル | 64 | 52 | 1 |
| 6 | 又マチチブ | 48~67 | 38~55 | 2 |

F. 新荒川大橋下流150m付近右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 158~285 | 126~190 | 2 |

G. 新荒川大橋下流500m付近右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|---------|----------|-----|
| 1 | ボラ | 123~151 | 99~123 | 2 |
| 2 | スズキ | 152 | 122 | 1 |

H. 新岩淵水門下流100m付近荒川右岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-----|--------|----------|-----|
| 1 | マハゼ | 137 | 111 | 1 |

I. 旧芝川荒川合流点

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|---------|----------|-----|
| 1 | スズキ | 187 | 153 | 1 |
| 2 | 又マチチブ | 44~55 | 37~45 | 4 |
| 3 | マハゼ | 108~123 | 85~99 | 3 |

(2)新河岸川

J. 新志茂橋付近左岸

| | 種類 | 全長(mm) | 標準体長(mm) | 個体数 |
|---|-------|--------|----------|-----|
| 1 | ボラ | 144 | 116 | 1 |
| 2 | 又マチチブ | 45~100 | 36~83 | 51 |
| 3 | マハゼ | 157 | 127 | 1 |

北区で見られる魚たち 1

—河川生物生息調査で捕れた種類—

<1> サツパ



<2> コノシロ



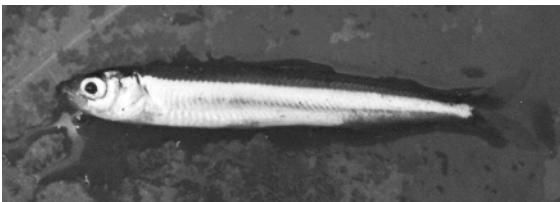
<3> ウナギ



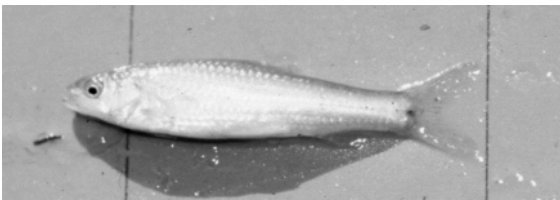
<4> アユ



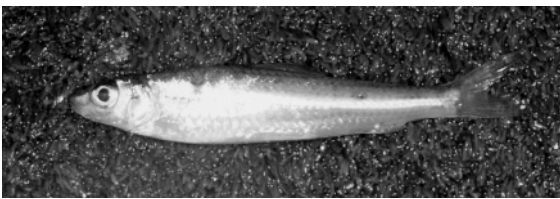
<5> ワカサギ



<6> タモロコ



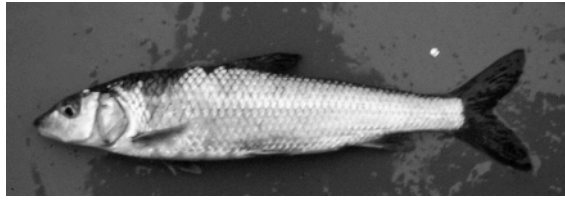
<7> スゴモロコ



<8> モツゴ



<9> ニゴイ



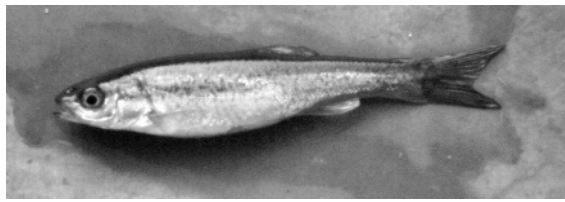
<10> カマツカ



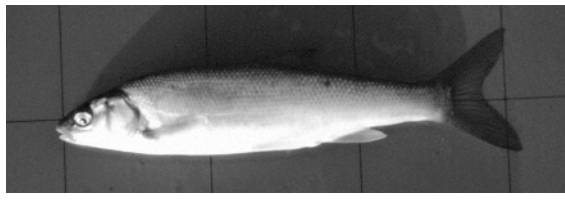
<11> ツチフキ



<12> アブラハヤ



<13> ウグイ



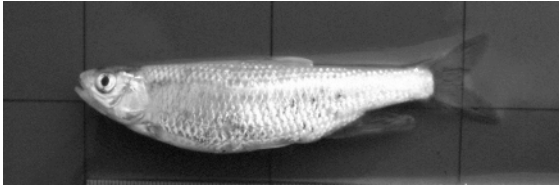
<14> マルタ



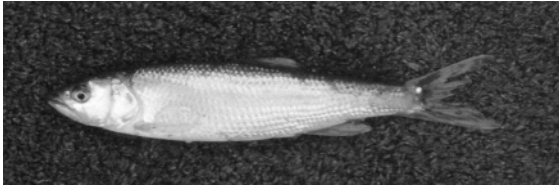
北区で見られる魚たち 2

—河川生物生息調査で捕れた種類—

<15> オイカワ



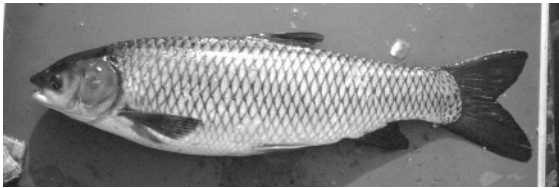
<16> ハス



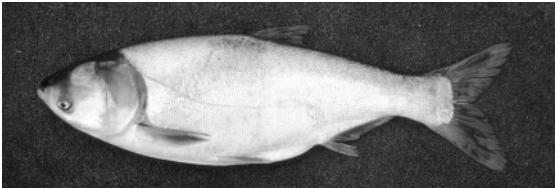
<17> ワタカ



<18> ソウギョ



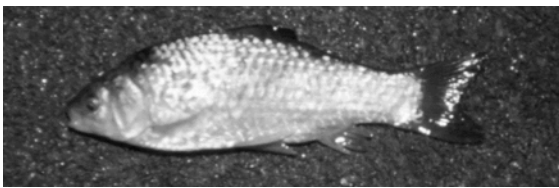
<19> ハクレン



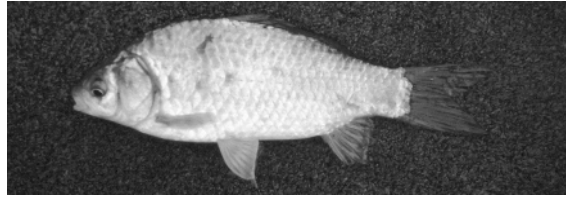
<20> コクレン



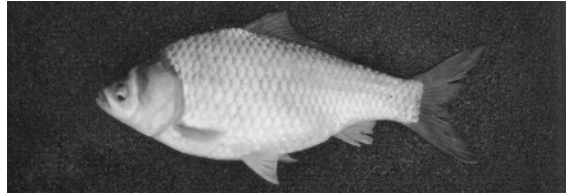
<21> キンブナ



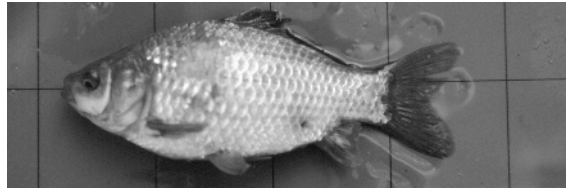
<22> ギンブナ



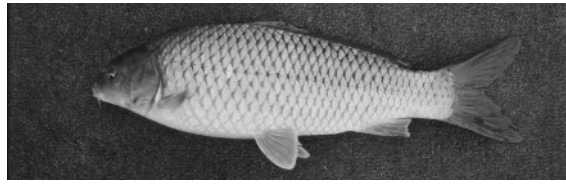
<23> ゲンゴロウブナ



<24> キンギョ



<25> コイ



<26> ヤリタナゴ



<27> アカヒレタビラ



<28> タイリクバラタナゴ



北区で見られる魚たち 3

—河川生物生息調査で捕れた種類—

<29> ゼニタナゴ



<30> ドジョウ



<31> シマドジョウ



<32> ギバチ



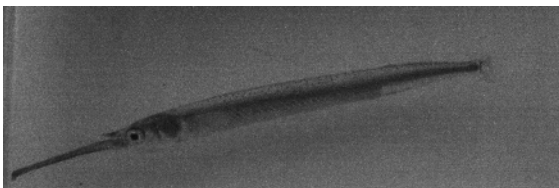
<33> ナマズ



<34> メダカ



<35> クルメサヨリ



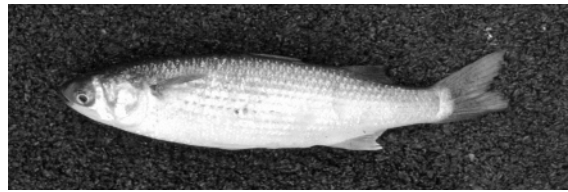
<36> カダヤシ ※特定外来生物



<37> グッピー



<38> ボラ



<39> カムルチー



<40> スズキ



<41> オオクチバス ※特定外来生物



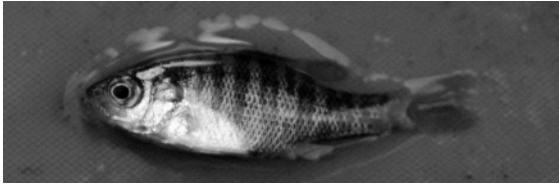
<42> コクチバス ※特定外来生物



北区で見られる魚たち 4

—河川生物生息調査で捕れた種類—

<43> ブルーギル ※特定外来生物



<44> ヒイラギ



<45> シマイサキ



<46> コトヒキ



<47> アベハゼ



<48> クロダハゼ



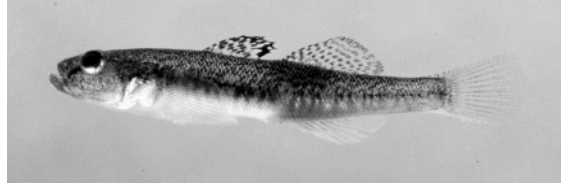
<49> ウロハゼ



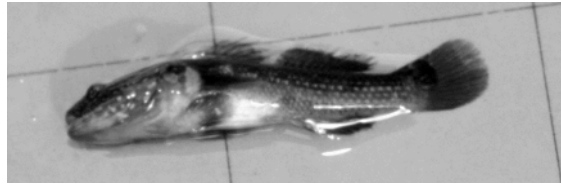
<50> ウキゴリ(淡水型)



<51> ビリンゴ



<52> ヌマチチブ



<53> シモフリシマハゼ



<54> マハゼ



<55> アシシロハゼ



1,10,11,26,28,31,36,45,46,47,48,50,51: 君塚芳輝氏撮影

35: 太田桐正吾氏撮影

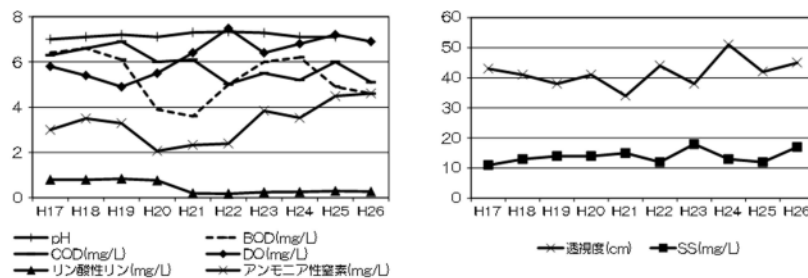
【河川別・年度別捕獲魚類一覧表】

| 河川名 | 昭和59年度 | 昭和60年度 | 昭和61年度 | 昭和62年度 | 昭和63年度 | 平成元年度 | 平成2年度 | 平成3年度 | 平成4年度 | 平成5年度 | 平成6年度 | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 荒川 | オイカフ | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 6 | 2 | 1 | 4 | 1 | 3 | 3 | 2 | |
| | ウグイ | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | ソウギョ | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | ハクレン | 42 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | モツゴ | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | ニゴイ | 11 | 16 | 16 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | コイ | 39 | 18 | 18 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 |
| | ゲンゴロウナ | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ギンブナ | 17 | 15 | 15 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 |
| | ギンブナ | 14 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ボラ | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | マハゼ | 35 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ボラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | スズキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ブルーギル | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マハゼ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | シモフリシマハゼ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マハゼ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| モツゴ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 9種類122尾 | 13種類135尾 | 13種類251尾 | 17種類61尾 | 13種類131尾 | 9種類35尾 | 20種類177尾 | 15種類120尾 | 15種類341尾 | 10種類120尾 | 19種類318尾 | 13種類241尾 | 15種類127尾 | 16種類371尾 | 16種類339尾 | 18種類253尾 | 14種類145尾 | 10種類169尾 | |
| 隅田川 | | | コイ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 1種類1尾 | 1種類1尾 | | | | | 1種類1尾 | | 1種類6尾 | 4種類7尾 | 6種類9尾 | 1種類3尾 | 3種類15尾 | 5種類20尾 | 2種類6尾 | 6種類17尾 | 4種類32尾 | 3種類22尾 |
| | 新河岸川 | コイ | 4 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | ギンブナ | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | 2種類9尾 | 1種類1尾 | 5種類7尾 | 1種類2尾 | 1種類2尾 | 1種類3尾 | 2種類4尾 | 8種類43尾 | 2種類4尾 | 4種類17尾 | 1種類3尾 | 5種類29尾 | 4種類12尾 | 6種類40尾 | 4種類22尾 | 4種類10尾 | 7種類21尾 | 5種類21尾 |
| 石神井川 | | モツゴ | 2 | 5 | 5 | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | | コイ | 3 | 1 | 5 | 5 | 4 | | | | | | | | | | | | |
| | ゲンゴロウナ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | ギンブナ | 29 | 32 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 4種類35尾 | 4種類43尾 | 3種類8尾 | | | 4種類27尾 | | 5種類34尾 | 5種類48尾 | 3種類29尾 | 6種類43尾 | 4種類24尾 | 13種類239尾 | 8種類46尾 | 7種類140尾 | 5種類532尾 | 7種類72尾 | 1種類1尾 |
| | 合計 | 9種類131尾 | 13種類171尾 | 13種類302尾 | 17種類72尾 | 13種類133尾 | 10種類65尾 | 20種類182尾多数 | 19種類197尾 | 16種類399尾 | 13種類173尾 | 21種類373尾 | 15種類297尾 | 21種類393尾 | 18種類477尾 | 21種類507尾 | 20種類812尾 | 19種類270尾 | 11種類213尾 |

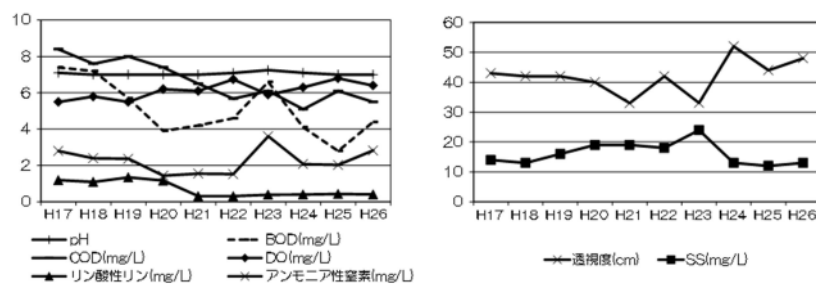
| 河川名 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 種類合計(昭和59年度～平成27年度) | | | | |
|--------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------|-----|-----------|-----|-----|
| 荒川 | オイカフ | 1 | 1 | 44 | 13 | 4 | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 | 30 | 1 | 65 | 3 | サツバ | タイリクバラタナゴ | | |
| | ハス | 7 | 13 | 10 | 9 | 5 | 1 | 1 | 12 | 1 | 1 | 8 | 2 | 2 | 2 | ウナギ | ゼニタナゴ | | |
| | マルタ | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | ウナギ | ドジョウ | | |
| | ハクレン | 5 | 1 | 1 | 147 | 51 | 143 | 143 | 86 | 28 | 22 | 22 | 10 | 41 | 41 | マルタ | ナマズ | | |
| | モツゴ | 5 | 101 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 | 11 | 11 | 11 | 23 | 23 | 23 | 23 | モツゴ | メダカ | |
| | ニゴイ | 5 | 1 | 1 | 118 | 1 | 1 | 1 | 13 | 13 | 13 | 13 | 43 | 43 | 43 | 43 | 43 | 43 | ウナギ |
| | ゲンゴロウナ | 2 | 13 | 13 | 9 | 1 | 1 | 1 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | コイ |
| | ギンブナ | 1 | 3 | 3 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | ボラ | 14 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | スズキ | 9 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ヒラギ | 23 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |
| | アマチチブ | 6 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | マハゼ | 52 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | アシシロハゼ | 1 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 |
| | コノシロ | 6 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 |
| | コノシロ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | アマチチブ | | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| マハゼ | | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | |
| コノシロ | | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | 68 | |
| ブルーギル | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | |
| ヒラギ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| アベハゼ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| アマチチブ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| ピリソ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| マハゼ | | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | |
| アシシロハゼ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| コノシロ | | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | |
| 計 | 15種類141尾 | 16種類276尾 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【河川水質の経年変化】

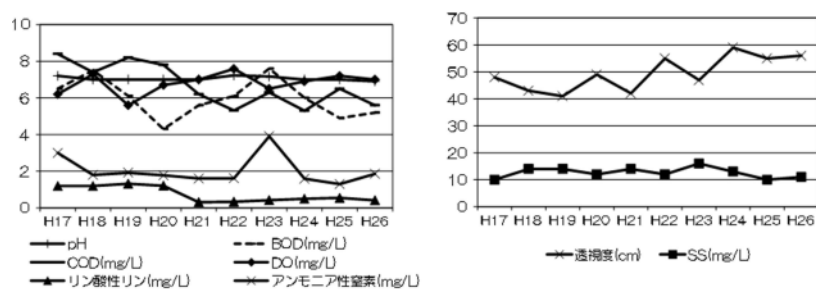
荒川（新荒川大橋）



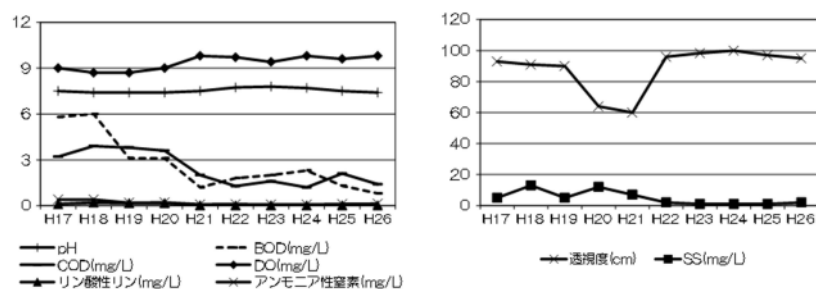
隅田川（新田橋）



新河岸川（岩淵橋）



石神井川（松橋）



【北区を流れる河川の環境基準】

| 河 川 | 基 準 値 | | | |
|-------------------------|---------------|-----------------|------------|------------|
| | 水素イオン濃度 (pH) | 生物学的酸素要求量 (BOD) | 浮遊物質量 (SS) | 溶存酸素量 (DO) |
| 荒 川 隅 田 川 石 神 井 川 | 6.5 以上 8.5 以下 | 5mg/ℓ以下 | 50mg/ℓ以下 | 5mg/ℓ以上 |
| 新 河 岸 川 | 6.0 以上 8.5 以下 | 8mg/ℓ以下 | 100mg/ℓ以下 | 2mg/ℓ以上 |

- 水素イオン濃度 (pH)： pH7が中性、それよりも数値が大きいとアルカリ性、小さければ酸性です。
- 生物学的酸素要求量 (BOD)： 5日間に水中の有機物を分解するために好気性微生物が必要とする酸素の量で、この値が高いと川は汚れており、BOD10mg/ℓを超えると、水は悪臭を発生するようになります。
- 浮遊物質量 (SS)： 水中に浮遊している不溶性の物質で、川底にたまったり魚介類に付着したりします。
- 溶存酸素量 (DO)： 水中に溶けている酸素の量です。酸素のない川や少ない川はいわば死んだ川で、魚介類は生存できません。魚には最低5mg/ℓが必要とされています。



北区河川生物生息調査報告書

平成 28 年 3 月

刊行物登録番号

27-3-048

発行／北区生活環境部環境課

〒114-8508

東京都北区王子本町 1-15-22

T E L 03 (3908) 8618 (直通)